2月9日（木）入場無料
～2月15日（水）

午前10時～午後8時（最終日午後5時迄）

九段生涯学習館2階九段ギャラリー

（東京都千代田区九段南 1-5-10　電話：03-3234-2841）東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車 6 番出口前

ボランティア募集中

写真展 重慶大爆撃を知ってますか？
第2弾!!—ゲルニカ・重慶～ベトナム・パレスチナ・シリア

◆ 2017 年 2 月 9 日（木）から 15 日（水）まで 1 週間、九段生涯学習館 2 階九段ギャラリーで「写真展:第 2 弾!! 重慶大爆撃を知ってますか」を開催します。第２弾の写真展は重慶大爆撃のほか第二次世界大戦後の朝鮮戦争、ベトナム、イラク、パレスチナ、シリアへの空爆を加えて日本軍が始めた重慶大爆撃が 21 世紀でも繰り広げられている国際法違反の無差別爆撃に連なっていることを問いかけます。

◆すでに危険な戦争法が施行されています。重慶大爆撃を含む日本軍の中国侵略は 2000 万人の中国人の命を奪いました。新たな戦争を絶対に許さぬ決意で重慶大爆撃から何を学ぶのかを皆さんと一緒に考えたいと思います。

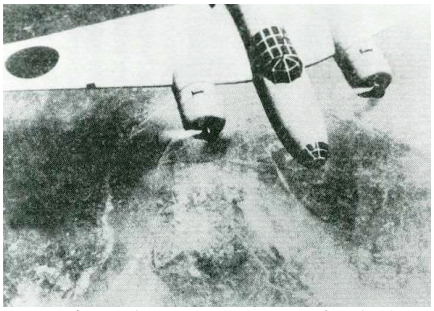
《写真展会場でミニ講演》連日午後1時と夕方から専門家が解説します。

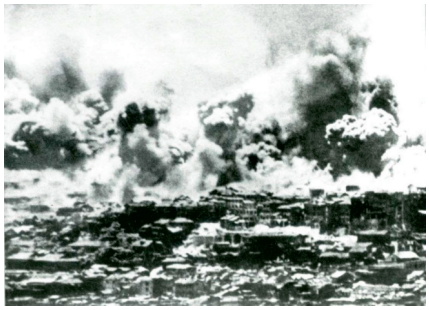
2 月 9 日（木）	**前田哲男さん**（ジャーナリスト）「戦争にとって２０世紀とは何であったか？」	午後 1 時
	西川重則さん（平和遺族会全国連絡会代表）「重慶爆撃被害者の訴えと日本の今」	午後 6 時
2 月 10 日（金）	**伊香俊哉さん**（都留文科大学教授）「裁かれた無差別爆撃と裁かれなかった無差別爆撃」	＊午後 1 時と午後 5 時半
2 月 11 日（土）	**大崎敦司さん**（平和研究者（紛争研究／和解学／戦争史））「南京・重慶からアレッポ・ラッカまで－都市空爆百年の被害と非人道性を考える」	＊午後 1 時と午後 5 時
2 月 12 日（日）	**藤永香織さん**（ヤスミン・ライブラリー主宰・福岡市）「占領・封鎖・爆撃―人間が壊されるパレスチナ・ガザの現実―」	＊午後 1 時と午後 5 時
2 月 13 日（月）	**鈴木賢士さん**（ﾌｫﾄｼﾞｬｰﾅﾘｽﾄ）「映像で見る日本と中国の爆撃被害者」	＊午後 1 時と午後 5 時半
2 月 14 日（火）	**内田知行さん**（大東文化大学教授）「人口変動を伴った重慶大爆撃と社会史的背景」	＊午後 1 時と 5 時半
	田代博之さん（重慶裁判弁護団長）「重慶大爆撃裁判の意義と展望」	午後 6 時
2 月 15 日（水）	**前田哲男さん**（ジャーナリスト）「第２次世界大戦以降における無差別爆撃の現実」	午後 1 時

《写真展の会場で併設展示！》鈴木賢士さんの写真とビデオ上映

フォトジャーナリストの鈴木賢士さんが撮影した日本（東京、名古屋、大阪、沖縄）と中国（重慶、成都、楽山、松潘）の空襲被害者の現在。同時にビデオ作品をエンドレス上映します。

重慶爆撃３本**『半面美人－重慶爆撃被害者 趙茂蓉さんの証言』**12 分 30 秒、**『72年間 体内に居座った爆弾の破片』**11 分 30 秒、**『簡さんの笑顔が見たい』**9 分 45 秒／東京空襲１本**『生きて伝える－戦災孤児　吉田由美子さん』**19 分


重慶を爆撃する日本軍の 97 式爆撃機


1940 年 8 月、爆撃で炎上する重慶市街

《お知らせ》重慶大爆撃裁判の控訴審第2回★傍聴をお願いします
3月17日（金）午後2時東京高等裁判所101号法廷（1時20分東京高裁傍聴券交付所集合）

重慶大爆撃の被害者と連帯する会・東京（代表・前田哲男）／重慶大爆撃訴訟弁護団（団長・田代博之弁護士）

弁護団：〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-21-5 一瀬法律事務所　TEL03-3501-5558　FAX03-3501-5565 Email:info@ichinoselaw.com

◆ Web サイト http://www.anti-bombing.net　ブログ『重慶大爆撃とは？』http://blog.goo.ne.jp/dublin-ki

◆お問合せは、上記弁護団事務局（一瀬法律事務所）の元永（もとなが）・小田までお願いします。

2017.1.27